

平成27年度文化財関係事業について

事業の名称	内 容	備 考
<p>文化財保存事業</p> <p>飯高寺管理事業</p> <p>八日市場の盆踊り保存事業</p> <p>仁組獅子舞保存事業</p> <p>松山神社神楽保存事業</p> <p>東郷神楽保存事業</p> <p>八雲神社祭礼囃子保存事業</p> <p>九十九里浜地曳大漁歌保存事業</p> <p>野手囃子保存事業</p> <p>六社大神神楽保存事業</p> <p>亀崎如意輪参り保存事業</p> <p>木積箕づくり保存事業</p> <p>飯高檀林跡を守る会</p> <p>飯高寺鐘楼脇防災工事</p>	<p>○非常用防災施設（火災報知設備・消火ポンプ・避雷針）の保守点検を実施（補助金）</p> <p>○後継者育成、伝承事業の助成を実施（補助金）</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>活動補助金</p> <p>○鐘楼脇擁壁排水等工事を実施（補助金）</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>
<p>文化財普及・活動事業</p> <p>仏画公開</p> <p>新緑祭</p> <p>飯高檀林コンサート</p> <p>能・狂言鑑賞講座 （飯高檀林コンサート事前講座）</p> <p>檀林大学</p>	<p>○長徳寺 国指定重要文化財2幅 福善寺 県指定有形文化財21幅 西光寺 県指定有形文化財10幅 寶光寺 県指定有形文化財1幅 平成28年1月24日（日）</p> <p>●4月26日（日）</p> <p>●10月11日（日）</p> <p>●10月3日（土）</p> <p>●4講義実施。 第4期1年目</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>
<p>埋蔵文化財保存事業</p>	<p>多古田低地遺跡埋蔵文化財調査（豊和地区）</p>	<p></p>

## 西光寺所蔵の駕籠について

### 【調査依頼の経緯】

平成26年11月 所有者から問合せあり

- ・この駕籠の作られた年代や文化財的価値を知りたい。
  - ・だいぶ傷んでいるので、修理をするか、それとも、そのままにしておいた方がいいのか判断してほしい。
  - ・今後、市民に見てもらえる機会があれば、公開したい。
  - ・以前に古い本堂にあったが、現在は、旧等明寺内に置いてある。
- 檀家からは、「あの駕籠はどこにいったのか？」と聞かれることもあり、今後お寺としては、何らかの形で保存したいと思っている。

### 【簡易調査の実施】平成26年12月17日

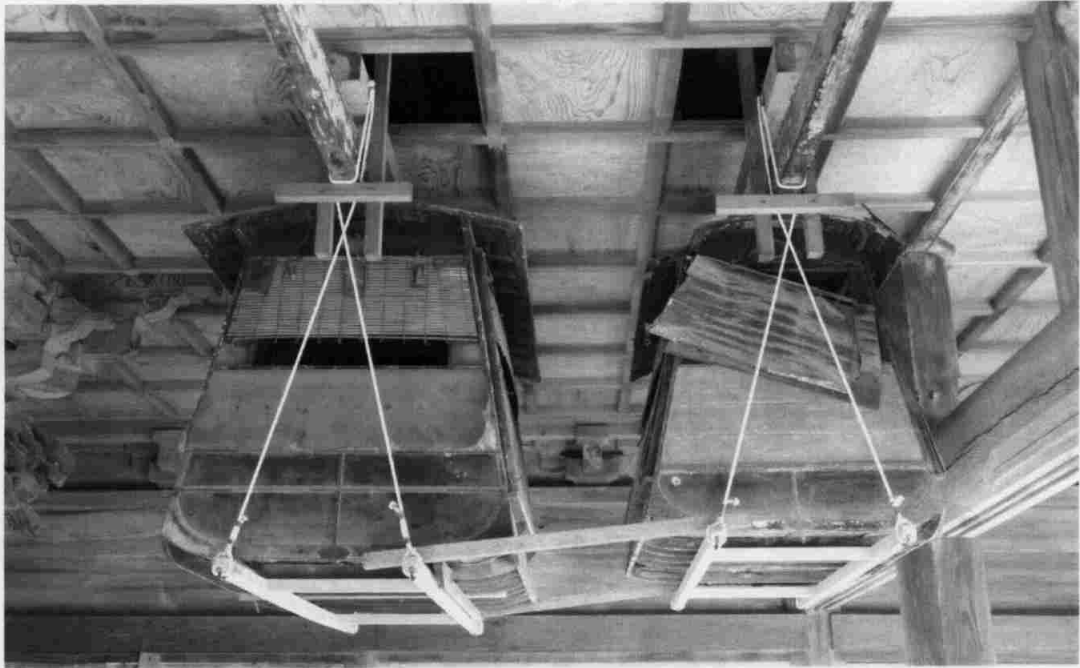
### 【西光寺について】

西光寺は、匝瑳市八日市場ホ2661番地に所在する真言宗智山派の寺院で、米倉山白豪院と号する。開創は、1427（応永34）年とする古刹である。

1591（天正19）年に20石の寺院領の寄進を受け、1633（寛永10）年には34か寺、その後も末寺を増やし、門末100か寺余の下総国の屈指の寺院。

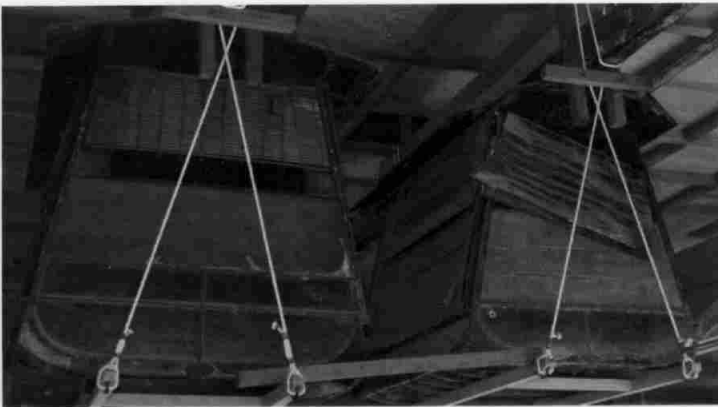
駕籠は、歴代住職が使用したものと見られる。

# 西光寺所蔵の駕籠 2挺(2台)



寸法 (左側) 全体 445cm タテ 110cm ヨコ 85cm 高さ 100cm

(右側) 全体 445cm タテ 102cm ヨコ 74cm 高さ 100cm



# 「脱走塚」の案内板について

八日市場市指定史跡

## 脱走塚

昭和三十五年三月三十日指定

明治元年十月六日、当地において水戸藩内部の諸生派と天狗派の抗争に終止符が打たれた。明治元年十月一日水戸城（茨城県）で敗残兵となった諸生派一行九十余名は、銚子・飯岡を遁り十月三日八日市場村（現在八日市場市）に着き福善寺（当市中央地区）に寄った。彼等を逮つてきた天狗派は、五日夜半に火を放ち、六日松山地区に逃れた諸生派は、一敵を交えた。この戦いで諸生派三十余名が戦死し、首は塩漬けにし竹やりに刺して水戸へ持ち帰つたという。首無の死体は村人の手により葬られ、「脱走塚」の名称がつけられた。

昭和六十二年十一月

八日市場市教育委員会



現在のもの

匝瑳市指定文化財

## 脱走塚

昭和三十五年三月三十日指定

明治元年十一月十九日（旧暦の十月六日）、当地において水戸藩内部の諸生派市川勢と天狗派による最後の戦闘があり、市川勢の戦死者を葬つたのが「脱走塚」である。市川勢は同年春に水戸を脱出し東北・越後地方を転戦し、最後は水戸城への侵入を果たせず、九十余名は銚子へ逃れ、旭市の海岸線を西に向かい、八日市場・福善寺で解散を決めたものの、追う天狗党とこの地で戦うことになった。「八日市場・松山の戦い」、「松山戦争」と呼ばれる二時間余の戦闘で名前のわかつている三十名の戦死者のうち二十五名がここに埋葬され、「百四十年墓前法要」の際、田久保・蓮光寺の水戸藩士の墓を移した。

平成二十八年〇月

匝瑳市教育委員会